

「約束をすること、守ること」に関する教材

第1 単元設定の趣旨

子どもたちの間では、ものの貸し借りをめぐる問題が多く起きている。借りる側の問題点としては、①借りたものを大切にしようという意識が希薄である、②期限などの約束を守ろうとする意識が低い、といったことがあげられる。さらに、③人間関係や力関係で自分のほうが優位に立っているという意識が働くと、①や②につながりやすい傾向がある。一方、貸す側の問題点としては、①約束をはっきりしない（できない）で貸してしまう、②断り切れず貸していることがあげられる。

こうした児童の実態を踏まえると、「約束をすること、守ること」の意義について改めて考えさせる必要がある。例えば、約束をすることもしないことも自由であること、約束は原則として守らなければならないこと、約束を守らないと相手に迷惑がかかることなどについて、実感として理解させることが重要である。

また、こうした学習を通じて、契約に関わることなく社会生活を営むことはできないことについて気づかせる。

第2 単元

共通事項 「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」
「ウ 望ましい人間関係の形成」

1 単元「約束をすること、守ることについて考えよう～貸し借りを通して～」(2時間)の構成

第一時 「約束をすること、守ること」

第二時 「貸し借りからえられること」

2 単元の目標

- ① 約束についての関心を高め、「約束をすること、約束を守ること」について考えさせる。
- ② 「貸し借りからえられること」について考えさせる。

3 単元の位置付け

「約束をすること、守ることについて考えよう～貸し借りを通して～」の単元は、新しい小学校学習指導要領の特別活動「学級活動」の「共通事項(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」のうち、「ウ 望ましい人間関係の形成」において、身近な約束を題材として、契約自由の原則と契約に伴う責任の意義を平易な言葉で学び、よりよい日常生活を送ることができるようにするという観点から作成したものである。

4 単元の指導計画

「約束をすること、守ることについて考えよう」の概要

ア 第一時 「約束をすること守ること」

第一時では、「約束をすること、守ること」について考えさせる。まず、アンケートの集計から、ものの貸し借りをめぐりトラブルが存在することに気づかせる。さらに、具体

的な貸し借りの事例から、あやふやな約束、相手に流されてする約束、約束の軽視、約束の不履行などの問題点に気づかせる。そして、「約束をすること、守ること」について整理する。

イ 第二時 「貸し借りからえられること」

第二時では、「貸し借りからえられること」について考えさせる。まず、実社会の中にたくさんの貸し借りが存在することに気づかせる。なぜこのようにたくさんの貸し借りが存在するのかという発問から、貸す側、借りる側が得られるものを考えさせていく。そして、貸し借りの前提である「返す」ということにも注目させながら、約束を守ることによって双方が利益を受けられることに気づかせる。

「約束をすること、守ることについて考えよう～貸し借りを通して～」

(1) 第1時 「約束をすること、守ること」

① 本時のねらい

約束についての関心を高め、「約束をすること、約束を守ること」について考えさせる。

② 展開

| | 学習内容 | ○学習活動 発問（教師＝T）、予想される発言（児童生徒＝S） | ・指導上の留意点 | 資料等 |
|-------------------------|---|--|---|---------------------|
| 導入 | 1 「ものの貸し借りをめぐりトラブル」 | ○アンケートの集計から、ものの貸し借りをめぐりトラブルがあることに気づく。 T：「アンケートからどんなことがわかるか」 S：「クラスの半分以上がトラブルにあっている」「身近なものの貸し借りからトラブルがおこっている」「なかなか返してくれない人がいる」「借りた人は、ものの扱いがひどい」 T：「今日は、貸し借りのことから、約束について考えていきます。」 | ・事前にアンケート調査を行う | アンケート |
| 「約束をすること、守ること」とはどういうことか | | | | |
| 展開 | 2 「約束をすること」 *約束（契約）をするしない、またその内容は、当事者が自由に決められる。 （約束の自由） | ○事例1（できごと・その1）から、貸す側、借りる側の問題点を整理し、「約束をすること」について考える。 T：「事例1では、誰のどんな所がいけなかったのか？」 S：「B君が、すぐ返さなかった」「B君が、無理矢理かりた。」「A君もB君も、いつまでという期限に関する約束をしなかった。」「A君の態度がはっきりしていなかった。断れば良かった」 ○「約束をすること」について知る。 T：「事例1の場合、どうすればトラブルにならなかったのだろうか」 S：「約束をはっきりとすることが大切である。」「約束の内容をはっきりさせておく。」「いやだったら約束はしない。」 | ・貸す側、借りる側の双方の問題点を児童から出させて、そこから約束の自由の考え方をつかませる。 ・B君が返さなければならないのは当然であるが、そこにとどまることなく、双方の問題点を引き出す。 ・A君が「いやだから貸したくない」と言ってよいことに触れる。 | 事例1 アンケート 1-1 |
| | 3 「約束を守ること」 *自由に行った約束は、守る責任がある。 （約束を守る責任） | ○事例2（できごと・その2）の問題点から、「約束を守ること」について考える。 T：「事例2の場合、ゲームソフトを返すべきか、それとも返さなくてもよいのだろうか？」 S：「もともと、A君のものなのだから、約束がしてあったとしてもすぐに返すべきだと思う。」「約束は約束なのだから、B君は5日間使っていていいと思う。」 ○「約束を守ること」について知る。 | ・事例2の問題点から約束を守る責任の考え方をつかませる。 ・約束をしなおすという方法もあることに気付かせる。 ・約束は契約ともいうということにふれる。 | 事例2 アンケート 1-3 |
| まとめ | 4 「あらためて約束をとらえなおす」 | ○今後、人と約束をする時にどのようなことを心がけていくのか、自分の考えをまとめる。 | ・トラブルがこじれてしまった時はどうしたらよいかについて、状況に応じて教師から話す。 | アンケート 1-4 |

アンケート集計結果 (小学校6年生 ; 1クラス28人)

ものを貸したり借りたりすることをめぐって、トラブルになったり、いやな思いをしたことはありませんか？

1 ある 15人 ない 13人

2 「何を」貸したり借りたりする時でしたか。*数字はのべ人数

- ①本 (小説、マンガ) 8 ②ゲーム機 5 ③ゲームソフト (ゲームカセット) 4
④カード 1 ⑤CD 1 ⑥ペン 2 ⑦教科書 2 ⑧のり 2 ⑨消しゴム 1
⑩えんぴつ 1 ⑪ノート 1 ⑫絵の具 1

3 どんなトラブルでしたか。

① 本 (小説、マンガ)

- ・よごされた
- ・おられた、やぶられた
- ・線をひかれた、しるしをつけられた、落書きされた
- ・また貸しされていたかもしれない
- ・2か月くらい返ってこなかった、しつこく返してと言って返してもらった
- ・1週間以上たっても帰ってこない
- ・なくされた 2

② ゲーム

- ・なくされる 3
- ・なくなったと思ったら違う友だちが持っていた

③ ゲームソフト (ゲームカセット)

- ・約束の日がすぎても返そうとしない
- ・期限を守らなかった
- ・なくした

④ カード ・なくされた

⑤ CD ・なくされる

⑥ ペン ・ペン先をつぶされた

⑦ 教科書2 ・かっぺにしるしをつけられた ・おられた

⑧ のり2 ・こわされた、全部つかわれた

できごと・その1 「ゲームソフト①」

ある日、A君の家にB君が遊びに来ました。

B君 「おもしろそうだね。そのゲームソフト貸してよ。」

A君 「え～、まだ買ったばかりだし、あんまり使ってないんだよなあ。」

B君 「いいから貸してよ。」

A君 「でも～。」

B君 「少しだけでいいからさあ～。」

A君 「・・・。」(ゲームソフトをしぶしぶB君に、渡す)

B君 「じゃあね。」(B君、ゲームソフトを持って、家に帰る。)

数日後

A君 「ゲームソフト、どうだった？」

B君 「いやあ、あのゲームおもしろいなあ。もう少し貸してよ。いいだろう」

A君 「でも、そろそろ返してほしいんだけどなあ。」

B君 「もう少しだけ使わせてよ。いいだろう。」

A君 「・・・。」

できごと・その2 「ゲームソフト②」

ある日、A君の家にB君が遊びに来ました。

B君 「おもしろそうだね。そのゲームソフト貸してよ。」

A君 「いいよ。いつまで？」

B君 「1週間貸してくれる？」

A君 「う～ん、少し長いなあ。5日間はどう？」

B君 「うん、いいよ。」

A君 「わかった、じゃあ、5日間ね。」

B君 「必ず、返すね。」

A君 「うん。約束だよ。」

3日後、学校で

A君 「ゲームソフト、どうだった？おもしろかった？」

B君 「いやあ、あのゲームおもしろいな。まだ、借りていていいんだよね。」

A君 「・・・実は、急にあのゲームをやりたいなくなっちゃってさあ。すぐ、返してほしいんだけど、いい？」

B君 「え～。でも、5日間、貸してくれるって、約束したじゃない。」

A君 「でも、ぼくのゲームだろう。返してくれよ。」

(2) 第2時の学習 「貸し借りからえられること」

① 目標

「貸し借りからえられること」について考えさせる。

② 展開

| | 学習内容 | ○学習活動 発問(教師=T)、予想される発言(児童生徒=S) | ・指導上の留意点 | 資料等 |
|---------------------|----------------|---|---|---|
| 導入 | 1 実社会の中の貸し借り | ○実社会の中の貸し借りにはどんなものがあるのだろうか。 T:「世の中のレンタル○○や貸し借りには、どんなものがあるか」 S:「レンタルCD、レンタルDVD、レンタカー、レンタサイクル、駐車場、駐輪場、レンタルの衣装、アパートなど」 | ・自分たちが生活している社会に多くの貸し借りが存在していることに気づかせる。 | ワークシート 2-1 |
| 「貸し借り」からえられることは何だろう | | | | |
| 展開 | 2 貸し借りのよさ | ○どうして貸し借りをするのかを考える。 T:「どうして、世の中にはこんなにたくさんレンタル○○や貸し借りがあるのだろうか」 S:「便利だから」「出せる範囲のお金で、いろいろなものが借りられるから」「人はほしいものすべてを買うことができるわけではないから」 T:「この間のアンケートでは、本の貸し借りをめぐっていやな思いをしている人が多く見られる。それでは、本の貸し借りのプラス面はないのだろうか。貸し借りのよさとは何だろうか。」 S:「自分で買わずに読める」「楽しさを共有できる」「いいものを友達に知ってもらえることができる」 T:「学校の図書室でも本は借りられるが、図書室のよさは何だろうか」 S:「たくさんの中から選べる。」「個人では、たくさん買うことができない。」「学校の立場に立ってみると、子どもたちの知識がふえる。」 | ・貸す側、借りる側の双方の立場から考えさせる。 | ワークシート 2-2 |
| | 3 返すということ | ○期限を守らないこと(返さないこと)の影響を考える。 T:「アンケートや発表から、返す期限を守らないことが多いようだが、期限に返さないとどんな迷惑がかかるのか考えてみよう。」 S:「持ち主に迷惑がかかる。」「図書室では、次に借りたい人に迷惑がかかる」 T:「もし、レンタカーを借りて返さなかったら誰に迷惑がかかる?」 S:「まず、それを貸している人(所有者)」「次に借りたい人に迷惑がかかる」「しかも、延滞料金を払わなければならない」 T:「もし、返さない人が増えたらどうなるのか。」 S:「誰も貸さなくなる」「貸し借りがなくなる」 | ・事前に図書館司書教諭に対して、児童生徒にインタビューを行わせることも考えられる。 ・返すという約束を守ることによって貸す側、借りる側の双方がメリットを受けられることを気づかせる。 ・契約自由の原則の考え方を振り返らせる。 | インタビューした内容をまとめた資料 ワークシート 2-3 ワークシート 2-4 |
| まとめ | 4 貸し借りからえられること | ○「貸し借りからえられること」についてまとめる。 | | ワークシート 2-5 |

「約束をすること、守ること」

名前 ()

1 できごと・その1から考えよう

| か がわ 借りる側 (B君) のよくないところ | か がわ 貸す側 (A君) のよくないところ |
|----------------------------|---------------------------|
| | |

2 どうすればトラブルにならなかったのでしょうか？

3 できごと・その2から考えよう

- ・ B君は、3日でゲームソフトを { 返したほうがよい ・ 返さなくてよい } と思う。
- ・ それは、なぜですか？

4 約束をする時、これから気をつけたいことを書こう。

「^か貸し^か借りからえられること」

名前（ ）

1 世の中で貸し借りされているものにはどんなものがありますか。

2 「貸し借り」にはどんなよい面があるのだろうか

| ^か 貸 ^す ^が わ ^側 | ^か 借 ^り ^が わ ^側 |
|--|--|
| | |

3 もし、期限を守らなかったら、だれにどんな迷惑がかかるのだろうか

(例) 学校の図書館

4 もし、返さない人が増えたらどうなるのか

5 まとめ

(例) 約束を守って、貸し借りをおこなうと、楽しみが増える、できることが増える。

(約束を守らないと貸し借りもなくなり、楽しみ、できることがへる。)